



ざっくり理解する気候変動 井川夕慈著より

気候変動と環境経営(12)

気候変動とサステナビリティ

2月①のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2026年2月1日(日)

温室効果ガスの継続的な排出

これは、深刻で不可逆的な影響を生じる可能性がある。

この問題は極めて高い緊急性を持っている。

この危機感を統合報告書で強調することにより、経営的・財務的重要性が確立される。

気候変動への対策は、もはや将来のリスク回避に留まらず、現在進行形の危機として位置づけられねばならない。

ESG 課題について

温室効果ガスに関する取組

温室効果ガスの排出に関する規制は、多くの国々で進んでいる事象である。CDP はじめ開示要請も多く、投資家の関心度合いも極めて高い情報といえよう。

一方で、企業がこの外部性を外部化するにあたって、重要度は企業の業態等の個別性によって大きく異なる。エネルギー産業や、エネルギー多消費産業にとっては、最大の経営課題ともいえるものであるが、一部のサービス業などにとっては、最重要課題とは必ずしも言えない。

これらの記述は単なるデータ集計ではなく、利用者が地域特性や特有の条件に応じて具体的かつ実行可能な行動や投資判断を行うための明確な指針となる必要がある。

(水資源保全)

水使用量、節水活動、排水管理

水ストレス地域における対応方針

水リスク評価

(生物多様性保全)

生物多様性、競争や宣言の制定

自然生態系への影響評価

事業所周辺での森林保全活動、サンゴ礁や海洋保護活動

(環境法令遵守・リスク管理)

環境関連法規の遵守状況

環境事故・訴訟の有無

環境コンプライアンス体制(内部監査・教育訓練)